学校番号	3009

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『新編　文学国語』（大修館書店）						
副教材等	『改訂版　必携　国語総合セミナー』（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業ではパソコンを使います。忘れないように充電して持ってきてください。
・文学作品の登場人物の表情、態度、行動などからその心情を汲み取る練習は、普段の生活でも生かすことができます。人の心を推しはかる力を身に付けましょう。
・授業ではプリントを使いますが、ただ板書したことを書いているだけでは最高の評価を得ることはできません。気のついたことなどをメモするようにしましょう。
・定期的に課題を提出してもらいます。必ず提出するようにしましょう。

2　学習の到達目標

(1)語彙力を増やし、自分の考えや気持ちをより的確に表現できるようになる。
(2)登場人物の行動や態度などを読み込み、その心情を推しはかったり、共感する力を伸ばす。
(3)さまざまな文学作品に触れることで、興味の幅を広げていく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	これからの社会生活に必要な語彙力を身に付け、適切な表現をしている。	「書くこと」を通して、自らの思いや考えを他者に伝えようとしている。また、「読むこと」を通して他者の思いを正確に読み取ろうとしている。	さまざまな文章の表現に触れることで、自らの言語感覚を磨き、より効果的な表現を使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	・登場人物の心理を場面展開に沿って読み取る。 ・時に状況が人の意図と違った方向に向かう中で、どうすればよいのか、考えを深める。 ［教材］こころ	a：文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]：物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむ。 b[書]：主人公の生き方についての考察を自分の言葉で表現する。 c：場面ごとの展開を粘り強く読み取り、登場人物の心情とその変化について理解を深めようとしている。	定期考査 PC による課題	定期考査 ワークシート	学習課題
	場面の設定の仕方を通して登場人物の心情を考える。 ［教材］ナイン	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]：登場人物の言葉の裏に隠された心情を読み取り、人間の関係性の深浅について考察する。 c：場面の移り変わりや登場人物の発言を粘り強く読み取り、それぞれの人間関係を捉えようとしている。	定期考査 PC による課題	定期考査 ワークシート	学習課題
後期	登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 漢文訓読調の文章の魅力を味わう。 ［教材］山月記	a：文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]：表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。 b[書]：主人公を呼んだ者は何か、虎にした者は何かを考察し、表現する。 c：登場人物の行動や心理を読み取り、内容や展開を捉えようとしている。	定期考査 PC による課題	定期考査 ワークシート	学習課題
	登場人物の視点や表現の特色に注目し、その働きを意識しながら読む。 ［教材］待合室	a：慣用的な表現、感覚的な表現を理解し、自分のものとしている。 b[読]：登場人物の行動と相手を思う気持ちの相関を理解している。 c：作品に興味をもち、登場人物の視点や表現の特色に注目しながら内容を読み取ろうとしている。	定期考査 PC による課題	定期考査 ワークシート	学習課題

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　－　）時間

・書くこと　…　（　17　）時間

・読むこと　…　（　53　）時間